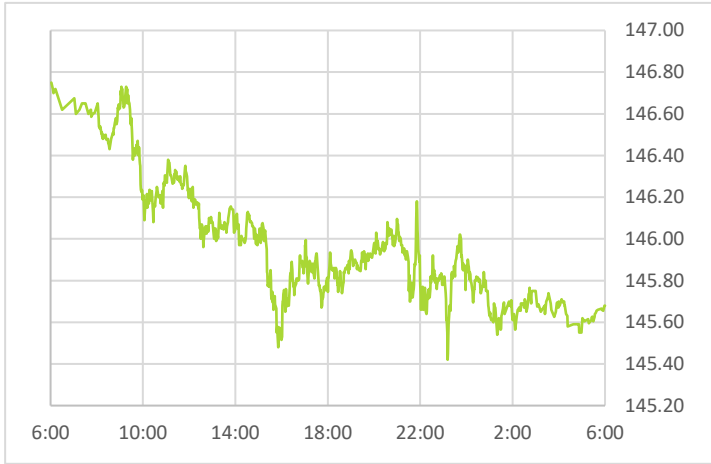


2025年5月16日(金曜日)

## 前日のトピックス

### 【米ドル/円チャート】

(出所:LSEG)



### 【推移レンジ】

(出所:LSEG)

	オープン	安値	高値	クローズ
ドル/円	146.75	145.42	146.75	145.68
ユーロ/ドル	1.1176	1.1170	1.1229	1.1185
ユーロ/円	164.01	162.77	164.01	162.87

(\*)オープン値は東京時間6時00分時点の気配値(週初は東京時間5時00分時点の気配値)

(\*)クローズ値はNY時間17時(東京時間6時)時点の気配値

### 【相場回顧】

#### 米経済指標を受けた利下げが意識され、ドル円は下落

##### 東京時間:

一ドル円は146円75銭、ユーロ円は164円01銭でスタート。ドル円は朝方から前日の流れを引き継ぎり安の展開。来週にも日米間で貿易交渉や財務大臣間の交渉が行われる見通しで、為替協議の思惑がくすぶる中、円は再び買い戻され、米中合意後の上昇を帳消しにする神経質な展開になった。

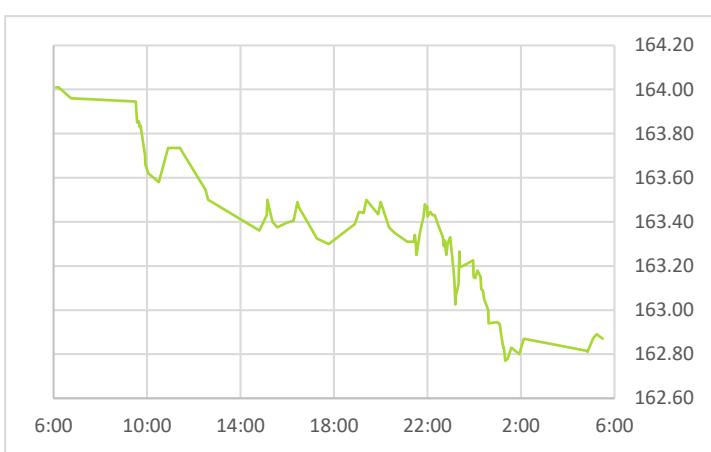
##### 海外時間:

一欧州時間、米10年債利回りの低下でドル売りが強まった結果、ドル円は週明けの米中貿易協議を受けた上昇を完全に戻して145円48銭まで下げ幅を拡大。その後、米国経済指標への警戒感からドルの売りは一服し、145円90銭台まで反発した。

一米国時間、発表された米国4月小売売上高と製造業生産指数は市場予想を僅かに上回った一方、PPIは予想を大きく下回る結果となり、米国の利下げの可能性が意識された結果、ドル円は引けにかけて軟調に推移。結局ドル円は145円68銭までと下落し、前日に続き、一日を通してドル安円高が進行した形でクローズした。

### 【ユーロ/円チャート】

(出所:LSEG)



## 主要相場動向

### 【株式市場】

		終値	前日比
日	日経平均	37,755.51	▲ 372.62
米	NYダウ	42,322.75	+ 271.69
	NASDAQ	19,112.32	▲ 34.49
独	DAX	23,695.59	+ 168.58
英	FTSE100	8,633.75	+ 48.74
中	上海総合指数	3,380.82	▲ 23.13

### 【国債利回り】

		引け(%)	前日比
日	10年国債	1.475	+ 0.025
米	10年国債	4.431	▲ 0.111
	2年国債	3.954	▲ 0.105
独	10年国債	2.626	▲ 0.066
英	10年国債	4.661	▲ 0.056

### 【通貨オプション】

	1M ATM 引け(%)	1M R/R 引け(%)	OVER
ドル/円	11.11	▲ 2.36	JPY CALL
ユーロ/円	9.02	▲ 1.48	EUR PUT

### 【インデックス等】

	引け	前日比
ドルインデックス	100.88	▲ 0.16
人民元基準値(公表値)	7.1963	+ 0.0007
VIX指数	17.83	▲ 0.79
CME Term SOFR 3mth	4.32443	▲ 0.00077

### 【商品市場】

	終値	前日比
金(COMEX)	3,226.60	+ 38.30
原油(WTI)	61.62	▲ 1.53

(出所:LSEG)

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。

2025年5月16日(金曜日)

## 行事・経済指標・発言等

### 【経済指標】

(出所:LSEG)

日付	国	内容	対象期間	結果	予想	前回	改定値	
5/15	豪英	失業率	4月	4.1%	4.1%	4.1%	-	
		国内総生産(GDP)速報値(前期比)	Q1	0.7%	0.6%	0.1%	-	
		国内総生産(GDP)速報値(前年比)	Q1	1.3%	1.2%	1.5%	-	
	欧	鉱工業生産(前月比)	3月	▲0.7%	▲0.5%	1.5%	1.7%	
		鉱工業生産(前年比)	3月	▲0.7%	▲0.9%	0.1%	0.4%	
		鉱工業生産(前月比)	3月	2.6%	1.8%	1.1%	-	
		鉱工業生産(前年比)	3月	3.6%	2.5%	1.2%	1.0%	
		米	新規失業保険申請件数	週次	229(千件)	229(千件)	228(千件)	229(千件)
			NY州製造業業況指数	週次	▲9.20	▲10.00	▲8.10	-
	生産者物価指数(PPI)食品・エネルギー除く(前月比)		4月	▲0.4%	0.3%	▲0.1%	0.4%	
	生産者物価指数(PPI)食品・エネルギー除く(前年比)		4月	3.1%	3.1%	3.3%	4.0%	
	小売売上高(前月比)		4月	0.1%	0.0%	1.4%	1.7%	
	5/16	日	小売売上高(前年比)	4月	5.16%	-	4.60%	5.25%
			鉱工業生産(前月比)	4月	0.0%	0.2%	▲0.3%	-
鉱工業生産(前年比)		4月	1.49%	-	1.34%	1.33%		
欧		国内総生産(GDP)1次速報値(前期比)	Q1	-	▲0.1%	0.6%	-	
		貿易収支(EUR)季調値	3月	-	-	21.00(十億)	-	
米		ミシガン大 消費者信頼感指数 速報値	5月	-	53.4	52.2	-	
		住宅着工件数	4月	-	1,365(百万件)	1,324(百万件)	-	

### 【コメント・発言等】

日付	国	発言者、イベント名	発言内容
5/15	米	トランプ米大統領	インドで物売るのは非常に難しく、インドは基本的に米国に開税を課さない取引を提示している 適切であれば、16日のトルコで行われるロシア、ウクライナの直接協議に行く 米国がイランとの核合意に非常に近づいている
	日	バーFRB理事 宮沢税調会長	経済成長は堅調で、失業率は低水準で安定しており、インフレ率は2%目標に向けて低下し続けている 幹部会合では'減税'について相当大きな課題があるのが共通認識だった

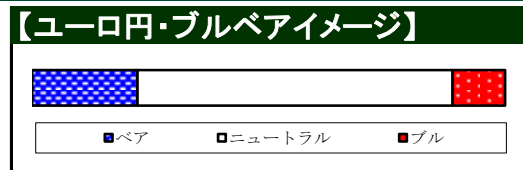
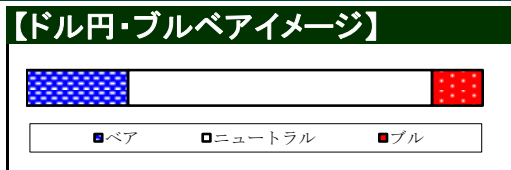
## 本日の相場予想

### 注目度の高い米経済指標の消化具合に注目

昨日は前日迄の流れを引き継ぎ、一日を通してドル安円高が進行する展開となった。  
本日は特段大きな材料に欠ける中、マーケットは米国の次回利下げのタイミングに注目しており、  
昨日の経済指標の結果を踏まえたアジア時間の動きや、米高官発言等による突発的な相場の動きには注意したい。

<本日の予想レンジ>ドル円:144円00銭~146円00銭、ユーロ円162円50銭~164円50銭 (担当:篠原)

## ディーラーの予想分布



弊行ディーラー(15名程度)による本日の相場予想(※1)の分布(※2)です。

(※1)本レポート作成時点での、本日ニューヨーククローズにおけるレート水準の予想

(※2)ブル:50銭超の上昇(円安)、ベア:50銭超の下落(円高)、ニュートラル:上下50銭以内

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。